

塘研究室現地調査報告

昨年度、私たちの研究室では『裏磐梯檜原湖畔・中瀬沼の昆虫ミニガイドブック』を作成しました。どちらかと言えばマイナーな昆虫を中心に紹介したこのミニガイドブックは、裏磐梯ビジターセンターとサイトステーションにて無料で入手可能です。今年度は、もう少しメジャーな昆虫を中心にしたミニガイドブックを作成しようと考えています。そこで、5月18日に裏磐梯檜原湖畔探勝路、レンゲ沼探勝路、中瀬沼探勝路に、季節の進み具合の確認も兼ねて、春の蝶の調査に行ってきました。

昨年に比べると季節はやや遅れている印象で（今年が例年並、昨年は積雪量が極端に少なかったので早かったのだと思います）。気温も比較的高く、天気も良かったのですが、蝶たちはまだあまり活動していませんでした。それでもスプリング・エフェメラル（春の短い期間しか成虫が出現しない種）であるコツバメが咲き残ったサクラ類の花にとまっている姿、1化目のモンキチョウ雌がレンゲ沼前の芝生広場にあるツメクサ類の葉に産卵している姿、ヤナギ類の花で吸蜜する越冬明けのシートテハの姿を見ることができました。なお、檜原湖畔探勝路入舟側キャンプ場近くにブナがかなりあることに気が付き驚きました。キビタキも結構姿を現してくれました。月に2回くらいのペースで写真撮影に行く予定です。

